

# C.COM

広島の生協

平和とより良き生活のために

## AUG.2014 VOL.47

広島県生活協同組合連合会  
発行 2014年8月25日



# 伝える

## 特集：「伝える」

### 2014「平和の取り組み」

ピースアクション in ヒロシマ

- ・「伝える」…………… 1 - 3
- 子ども碑めぐりガイド
- 「PRAY「人間の悲しみを伝えて…」
- ヒロシマ虹のひろば…………… 4
- ・市民平和行進…………… 5
- ・ナガサキ訪問記・ピースナイター…………… 6

事務局だより

- ・広島県生協連 2014 年度通常総会…………… 7
- ・2014 年度第1回トップセミナー

会員だより

- ・広島県消団連 2014 年度総会…………… 8
- 第43回広島県生協大会のご案内

事務局だより

- ・広島県労働者福祉協議会研修…………… 9
- 「東日本研修」
- ・第1回組織委員会報告
- ・第7回地域活性化研究会報告…………… 10
- (コープおきなわ実践報告)
- ・第1回福祉・介護委員会報告
- ・理事会報告

『日々のことから』…………… 11

広島平和記念資料館館長：志賀賢治

・編集室から



表紙写真：8月5日、虹のひろばでの「PRAY」の公演から（被爆の瞬間）

# 特集

# 伝える



2014ピースアクションinヒロシマ

原爆ドームの前で説明をする子ども碑めぐりガイド大平鈴音さん(中3)



子ども碑めぐりガイド池田風雅くん(中2)



子ども碑めぐりガイド和田心侑さん(小4)



子ども碑めぐりガイド安原あかりさん(中2)



子ども碑めぐりガイド和田千礼さん(小6)

次の時代を担う子どもたちが、平和公園周辺にある遺跡や『碑』を説明する『子ども碑めぐりガイド』が昨年から始まりました。

今年で、2年めとなる『子ども碑めぐりガイド』、当初、「大丈夫だろうか…」と懸念する大人を尻目に、子どもたちは、平和の伝道者としての努めを立派に果たしています。



子ども碑めぐりガイド寺田帆波さん(小4)

「69年前に起こったヒロシマの惨禍を風化させてはならない」と願うのは、ひろしまに住む人はもとより世界中の人々の切なる願いです。そのためには、被爆の声なき証言物である遺跡や碑、被爆者の体験談や平和を希求する叫びを、人々に伝えていくことが何よりも重要なことだと考えられます。

そうした試みの一つとして、

ピースアクション in ヒロシマ

# 伝える



2014 ピースアクション in ヒロシマ

呉市から通いながら稽古に励む中野さくらさん



I PRAY 広島 YMCA スタジオでの稽古風景



原爆が炸裂した瞬間を演じる



兄弟を演じる参加者

味で、小学生から高校生、大人までが参加。広島に投下された原爆を題材に、戦争や核兵器の恐ろしさ、凄惨さ・そして悲しさを通して平和の大切さと、戦争のない未来を願って。原爆が落ちる前の広島、原爆が投下された広島、復興の広島を、ダンス・歌・演劇を通して描き、平和を心から願う熱い思いが、舞台に充ち満ちています。



無心に稽古に打ち込む少女の瞳の輝きは印象的だ

子ども碑めぐりガイドが、平和を伝える役目を立派に果たしている一方で、広島における『I PRAY』というグループが、ダンスと歌・演劇を通して平和を訴えています。

木原世看子という平和を願う一人のダンス指導者の思いがひとつの形となった創作劇。演じるスタッフは、30〜50人。平和な未来へ願いを込めるという意

ピースアクション in ヒロシマ

私たちが繋がります



法道寺さんと話す木原先生

木原世宥子（きはら ようこ）プロフィール  
広島におけるダンスの代表的指導者。演出・構成・振付等のトータルコーディネーターとして、アジア大会スポレク、ねんりんピック、国民文化祭、世界音楽祭、育樹祭、ロータリー世界大会などを演出。テレビ・ラジオ・CM・映画などでも活躍中。



お母さんと一緒に参加した寺田帆波さん



熱い想いで演じる中野さくらさん



真剣な面持ちで説明する大平鈴音さん

デンマークの自然エネルギー展示館を訪れた時、説明担当者から「固定された考えの大人を教育するよりも、将来を担う子どもたちに教育を…」という言葉

広島におけるダンスの代表的指導者の木原世宥子さんは、かねてより命の尊さをテーマに、「子どもの笑顔が絶えない、戦争のない平和な世界を私たちの手で守らなければならない」と

葉を聞いたことがあります。そういった動向もあつてか、「環境や平和の問題は子どもたちで」という考えや動きが活発になってきた。広島県生活協同組合連合会も、命や平和の尊さを、子どもたちの力で、同じ子どもたちに伝えていければ、という考えで、『子ども碑めぐりガイド』を昨年からスタートさせました。その研修の場を訪ねました。

8月4日の本番の日を控えた7月26日（土）、平和記念資料館前に集合した関係者と6名の子ども碑めぐりガイド。

訴えることができないだろうかと考えていました。その思いが今から19年前に平和創作劇として実現したのです。

『IPRAY』と称する木原さんが演出・振付・制作する創作劇。広島市の中心部にある広島YMCAの練習スタジオには小学生低学年から高校生・大学生・成人約40名が集まり、8月5日の舞台発表に向けて猛練習中です。

原爆投下前の広島市の市民の営み、投下の瞬間、その後の惨劇とそれを乗り越えようとする人々をダンス・ミュージカル仕立てにした舞台は、小さな子ども

一行は、ガイド2名ずつ3つの班に分かれて平和公園内の、被爆アオギリ、原爆死没者供養塔、原爆の子の像、原爆ドームをめぐる、交代で説明練習を繰り返します。

中学3年生の大平鈴音さんは、「広島に生まれて、原爆のことや平和運動に興味を持つていました」と参加の動機を語ります。そして、お母さんのすずめもあつて子ども碑めぐりガイドに。その結果、友達からも支持され、平和のことを詳しく知ることによって、「正しい真実を伝えたい」という気持ちが強

もから大人までが、熱い想いを込めて演じているだけに、見る者を引き込みますにはいられます。

IPRAYに参加する子どもたちには、「挨拶や礼儀作法、箸の上げ下ろしまで細かく指導します」という木原先生のもとで、若い人たちは、平和の尊さ、生きることの喜びを、身をもって学びます。

「平和について伝えるには、次の時代を担う若者たちがそのことを理解することが大事」と考える木原先生。「教えるというより、子どもたちと一緒に自分も学んでいます」と創作

くなったと言います。

大阪出身のお母さんと一緒に研修に参加した寺田帆波さん（小4）。「子どもの言葉で子どもに…」というお母さんの思いを受けて、顔を紅潮させ眼を輝かせながら澄んだよく通る声で碑の説明をします。

「子どもには、子どもの心で…」と企画された『子ども碑めぐりガイド』。2回目の今年、純粋な子どもたちの熱い思いが、明日を担う同世代の子どもたちに、命と平和の尊さを確実に伝えていくものと期待されています。

劇参加者の思いを代弁します。

呉市から稽古に通ってくる中野さくらさん（中2）は、「創作劇でいろいろなことを学び、平和のことを訴えることができると眼を輝かせます。「おばあちゃんから原爆のことを聴いて、自分も創作劇を通じて平和を訴えることができれば…」と参加した法道寺巧くん（中2）。二人を含めた稽古に励む30名近い人たちは、平和の尊さ、生きる喜びを自分たちの全身全霊を通して訴えています。平和の若き伝道者が、確実にこの地ヒロシマに育っています。

ピースアクション in ヒロシマ

# 虹のひろば

## 伝えよう 明日へ未来へ！ 継承と創造～ヒロシマから平和な未来を築こう！



今年も好評を博した安田女子大学生の書道パフォーマンス



オープニングを飾った和☆ROCKの和太鼓演奏



I PRAYの原爆を題材にした創作劇によるリレーメッセージ



参加者全員で原爆の犠牲者に黙祷を捧げる



主催者を代表して挨拶する日本生協連和田寿昭専務理事



挨拶する松井一實広島市長



第1部虹のステージオープニング



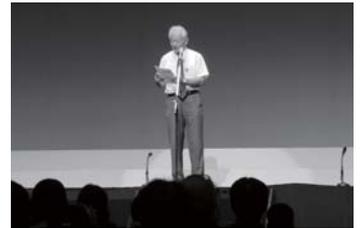
虹のひろばにも設けられた展示に見入る参加者



子ども碑めぐりガイド代表のリレーメッセージ



組合同代表片岡路子さんのリレーメッセージ



リレーメッセージを読む被爆者代表大越和郎さん



医療生協ブースで健康診断をする参加者



署名コーナーで署名する人たち



安田女子大学書道学科生のリレーメッセージ



虹のひろば健康相談ブース



フィナーレを飾る虹のひろば合唱団



クイズコーナーで楽しむ参加者たち



地元ナガサキの生協ブース前で記念撮影



虹のひろば各ブースは交歓の場でもありました

誓い合いました。

虹のひろば会場では、各地から参加した生協ブースで人々の交流が図られ、展示パネルに見入る人々、クイズに参加する人たちと、年々虹のひろばが人々の間に定着しています。

和太鼓演奏もさることながら、大学生による書道パフォーマンスも大人気。そして、平和を願って参加した参加者は、フィナーレの虹のひろば合唱団とともに合唱し、平和の伝承を

8月5日、『ヒロシマ虹のひろば』会場の広島県立総合体育館（グリーンアリーナ）は、全国から集まった大勢の人の熱気であふれました。

「伝えよう、明日へ未来へ」を合言葉に『継承と創造』でヒロシマから平和な未来を築こう！と集った1200人の参加者。第1部虹のステージオープニング和☆ROCKの和太鼓演奏で一気に会場の熱気が高まりました。松井一實広島市長挨拶、主催者挨拶に続いて、被爆者代表大越和郎さん、組合同代表片岡路子さんのリレーメッセージ、I PRAYの創作劇、大学生代表、子ども代表のリレーメッセージで、被爆の証言継承と未来の平和の創造を誓いました。

ピースアクション in ヒロシマ - 市民平和行進

戦争も核兵器もない未来を目指して…

広島県生協連では、広島県被団協や広島YMCAなど市民6団体で「2014市民平和行進広島県連絡会」を結成して、戦争も核兵器もない平和な世界の実現に向けて、1979年から市民平和行進に取り組んでいます。

今年には県内4箇所と、8月4日に広島市内から平和記念公



7月25日 廿日市市平和行進



7月13日 福山市平和行進



7月27日 東広島市平和行進



7月26日 三次市平和行進



7月27日 四国の生協との引継式：因島



7月26日 島根県との引継式：三次



8月4日 集結行進：広島市中心部



8月4日 出発式で挨拶する菅原さん

園まで、延べ約800人が平和をアピールしながら行進しました。

また、島根県、四国4県からの引継式を行い、平和への熱い思いを受け継ぎ、広島平和記念公園までお届けいたしました。

集結式を行い、主催者の坪井広島県被団協理事長、岡村広島県生協連会長理事が挨拶、続いて松井広島市長のメッセージを及川広島市民局長が代読され、最後は子ども碑めぐりガイドの大平鈴音さんからの平和に対する熱いメッセージに、参加者はみんな感動しました。



8月4日先頭は右から岡村会長、坪井理事長、殿納副総主事

主催：2014 市民平和行進広島県連絡会 構成団体

団体名	代表者名
広島県原爆被害者団体協議会	理事長 坪井 直
広島県原爆被害者団体協議会	理事長 金子 一士
広島県地域女性団体連絡協議会	会長 仲島 武子
(公財) 広島YMCA	総主事 上久保昭二
広島県青年連合会	会長 新矢 睦巳
広島県生活協同組合連合会	会長理事 岡村 信秀



子ども碑めぐりガイド大平鈴音さん (中央)

強化していくことを確認して、2014年の市民平和行進集結式を終えました。

## ピースアクション in ヒロシマ

### 集団的自衛権行使を可能とする憲法解釈の変更に反対

広島県生協連では、集団的自衛権行使を可能とする憲法解釈の変更に反対する声明文を安倍晋三内閣総理大臣に送りました。今後も政府の動きを注視していきます。

広島協連発第 2014-030 号  
2014 年 7 月 15 日

内閣総理大臣  
安倍 晋三 殿

#### 集団的自衛権行使を可能とする憲法解釈の変更に反対

広島県生活協同組合連合会  
会長 理事 岡村 信秀

7月1日、安倍内閣は、他国への攻撃に自衛隊が反撃する集団的自衛権の行使を認める閣議決定をされました。集団的自衛権の行使容認については、報道各社が実施した世論調査でも明らかなように、反対が賛成を上回り、多くの国民が不安と疑念を抱いています。憲法の柱である平和主義を根本から覆す解釈変更に対して強く反対します。

戦後の歴代内閣は、戦争放棄と武器不所持をうたっている憲法第9条の下において、憲法解釈の整合性が保たれ、論理的に許容されている自衛権の行使は、我が国を防衛するため必要最小限度の範囲にとどまるべきものであると解してきています。その時々々の政権の判断で、憲法解釈を閣議決定し、この問題を進めていくことは、立憲主義、法治国家として根幹を揺るがす重大な問題であり、民主主義国家を標榜する日本国が取るべき方策ではありません。

ヒロシマは、人類史上初めての原子爆弾投下により、多くの市民が犠牲となりました。今なお被爆者の多くは、その後遺症に苦しんでおられます。私たちの願いは、二度とそうした惨事を繰り返さないために、戦争も核兵器もない平和な世界を実現させていくことです。

成熟した国際社会において、世界の人々が力と脅威を背景とする武力行使ではなく、対話を重視した平和外交を貴殿に求めます。

人類の恒久平和を求めるヒロシマからの、心からの願いをお聞きいただき、集団的自衛権の行使については、将来に禍根を残さないために慎重かつ国民全体でオープンな議論をしっかりと時間をかけて行うことを要望いたします。

以上

## 今声を出さねば、ナガサキ訪問記

広島県生協連 会長理事 岡村 信秀

私は8月8、9日に長崎を訪れた。目的は2つあった。1つは、長崎と広島における「生協虹のひろば」の到達点評価と平和祈念式典に参列することであった。2つは、平和活動における日本生協連、長崎県生協連、広島県生協連の連携強化と2015年NPT再検討会議に向けての確認だ。

1つ目は、規模の相違を除けば、両県とも「継承と創造」を相当意識しており、若者や子ども

の出番が目立った。「ベリヨクだけどもリョクじゃない」を合言葉に、今後の活動と決意を訴えたナガサキ高校生平和大使による発信は、私を大いに勇気づけた。翌日の平和祈念式典では、被爆者代表の「平和の誓い」の中で、「集団的自衛権の行使容認は憲法を踏みこむ暴挙だ」と安倍首相を目の前に政府を批判した。実は当日配布された文章では、上記の文字はどこにも見当たらない。私はその時、



緑のポスターを掲げ平和をアピール



入口でピースポスターを配布

当日はカープの選手と審判もピースワッペンをつけてプレーし、観客と共に平和をアピールしました。

7月30日(水)、カープの公式試合の来場者が協力して平和と核兵器廃絶を訴えるイベント「ピースナイター2014」をマツダスタジアムで開催しました。

今年で7回目を迎えるピースナイターの始球式を行ったのはカープの元選手で野球解説者の山本一義さん。現役時代の背番号7のユニフォームでマウンドへ。対戦カードはカープ対中日ドラゴンズ。5回裏終了時には、地元高校生や、組合員さんの子どもたちによるパフォーマンスたちの動きにあわせ、入場時に配布した緑のピースポスターを掲げ、スタジアムを緑色に染めました。原爆ドームと同じ高さの25メートルに位置する観客席では、赤色のピースポスターでピースラインを表現。約2万7000人の来場者が一体となって平和と核兵器廃絶を願ったメッセージを発信しました。

## 生協ひろしま ピースナイター2014を開催

# 広島県生協連 2014 年度通常総会・第 1 回トップセミナー

## 2014 年度通常総会開催



通常総会の様子



2014 年通常総会において祝辞を述べる川上俊幸環境県民局長生活部長（右）、広島県農業協同組合連合会村上光雄会長（中）、日本生活協同組合連合会浅田克己会長（左）



報告をすする高田公喜専務理事

健康協藤原克彦常務理事が、議長  
の席につき、書記（生協ひろ  
しま・森島哲司課長）を任命し、



挨拶する岡村信秀会長理事

6月25日（水）、広島県生活  
協同組合連合会2014年度通  
常総会が、広島市中区サテライ  
トキャンパスひろしまにおいて  
開かれました。来賓、役員、代  
議員が会場にそろった午後1  
時、難波隆弘常務理事の開会挨  
拶と進行司会によって総代会の  
議長がまず選出されました。



新しく役員に就任した堀正登監事

議長に選出された広島中央保  
正登監事が紹介され、つづく議  
長の解任の後、岡野龍広常務理  
事の閉会の挨拶によって通常総  
会は、無事に幕を閉じました。

総会が始まりました。  
総会の冒頭は、岡村会長理事  
の挨拶、続いて広島県環境県民  
局長生活部長川上俊幸氏、広  
島県農業協同組合中央会村上光  
雄会長、日本生活協同組合連合  
会浅田克己会長祝辞がありまし  
た。その後、来賓が会場から退  
場し、通常総会が始まりました。  
午後1時半頃から始まった通  
常総会は、①2013年度活動  
報告ならびに決算報告・剰余金  
処分案承認の件②2014年度  
活動方針ならびに収支予算案決  
定の件の第1・2号議案、第3  
号議案役員補充選任の件、役員  
報酬決定の件の第4号議案と提  
案が出され、その後質疑応答が  
なされ、採決によって全ての議  
案が承認されました。続いて、  
岡村会長理事から、新役員の堀  
正登監事が紹介され、つづく議

報告ならびに決算報告・剰余金  
処分案承認の件②2014年度  
活動方針ならびに収支予算案決  
定の件の第1・2号議案、第3  
号議案役員補充選任の件、役員  
報酬決定の件の第4号議案と提  
案が出され、その後質疑応答が  
なされ、採決によって全ての議  
案が承認されました。続いて、  
岡村会長理事から、新役員の堀  
正登監事が紹介され、つづく議  
長の解任の後、岡野龍広常務理  
事の閉会の挨拶によって通常総  
会は、無事に幕を閉じました。



講師：日本生活協同組合連合会浅田克己会長

## 2014 年度第 1 回トップセミナー開催

げながら強調されます。  
そして、子どもの数が激減し、  
超高齢社会となった今日の社会  
状況の中で、人々は何を振り所  
にするか。また、これからの福  
祉を誰が担うのか、といった問  
いに、浅田会長は、生協が社会  
形成の主役の一人になるべきだ  
ということ強く訴えます。

2014 年度通常総会に引き  
続いて、同会場第 1 回トップ  
セミナーが開かれました。  
講師は、日本生活協同組合連  
合会浅田克己会長。  
『第12次中期計画で生協が目  
指すもの―原点を見つめ、未来  
を拓く』と題する浅田会長の講  
演は、初代日本生協連会長賀川  
豊彦が生協に託したことを冒頭  
で語ります。

最後に浅田氏は、日本の生協  
の10年後のありたい姿、第12次  
中期計画の重点課題を、「総合  
力の発揮」、「つながりの強化」、  
「持続可能な経営体質づくり」の  
3つをあげました。そして、「人  
と人とのつながり、笑顔があふ  
れ、信頼が広がる新しい社会の  
実現を目指します」という、10  
年後のありたい姿を提示して講  
演を終わりました。



第 1 回トップセミナーの様子

# 広島県消費者団体連絡協議会（広島県消団連）情報



山根消費生活課長



意見交換会の様子

## 【広島県消費者団体連絡協議会 構成団体】

所属団体	役職	名前
(公社)広島消費者協会	会長	徳田 洋子
JA 広島県女性組織協議会	会長	松本 治美
呉市消費者協議会	会長	清田 清美
広島県地域女性団体連絡協議会	会長	仲島 武子
廿日市市消費者協会	会長	是佐 恵美子
因島消費者協会	会長	吉本 田鶴子
NPO 法人消費者ネット広島	理事長	吉富 啓一郎
広島県生活協同組合連合会	会長理事	岡村 信秀

※ 2014 年度広島県消団連 会長 徳田洋子 (広島消費者協会)  
副会長 松本治美 (JA 広島県女性組織協議会)

# 2014 年度総会を開催

広島県消団連は、広島県生協連他、広島県内の 8 つの消費者団体が加盟し、消費者のくらしと健康、権利を守るため生活の各分野における幅広い諸団体が相互に連絡を保ち、連帯を強めて広島県の消費者運動を発展させることを目的とし、情報交流、学習、研修等、取り組みを連携して行っています。

2014 年度総会は、7 月 14 日(月) 広島県消費生活課研修室で開催。2013 年度の活動報告と 2014 年度の活動方針が承認されました。

2014 年度活動方針は、  
 (1) 食の安全、食品をめぐる諸問題に取り組みます。  
 (2) くらしや健康を守る取り組みをすすめます。  
 (3) 行政や消費者団体とのパートナーシップを大切にします。  
 として、食品表示ウォッチャーや食品の表示等に関する学習、社会保障と税の学習に取り組み、広島県などの審議会や委員会に参加して、消費者の要望が施策に反映されるように努めます。また広島県と共催で、消費者団体の活動交流なども計画しています。

## 「広島県消費者基本計画」策定に係る意見交換会を開催

7 月 30 日、広島県環境県民局消費生活課と広島県消団連は、新たな消費者基本計画の策定にあたり、意見交換会を開催しました。

広島県消費者基本計画の計画期間が平成 26 年度末で終了することから、消費生活に関する課題や計画に盛り込む内容等について、骨子案の概要説明、質疑応答、要望事項等、意見交換を行いました。

消費生活課は山根課長はじめ 6 名が出席し、広島県消団連は 6 団体 8 名が出席。  
 主な意見としては、消費者教育の重視、相談体制のネットワーク化、相談業務の一元化、ICT 化に伴った相談体制の充実強化等を要請しました。また、出前講座講師など各団体もっている資源や、情報(メールマガジン等)の一元化、各団体の活動内容や、広島県と連携した取り組みの広報等、有効活用することを申し入れました。

## 第 43 回広島県生協大会のご案内

広島県生協大会は、毎年 1 回、広島県生協連に所属する会員生協の組合員、役員が広く集い、時宜に応じたテーマで学習交流をしています。

生協は、共助・互助の組織として、地域社会づくりに参画することが期待されています。今年の生協大会のテーマは、「これからの地域づくりと生協の関わり」について考えたいと思います。記念講演は、里山資本主義を推奨している、NHK 報道局チーフプロデューサー井上恭介氏にご講演いただき、ミニシンポジウムでは地域活性化策を探ります。

- 日時 2014 年 10 月 23 日(木) 13:00 ~ 16:00
- 場所 サテライトキャンパスひろしま 大講義室 (広島県民文化センター 5 階)
- 内容 (予定)
  - (1) 式典
  - (2) 記念講演 演題「里山資本主義と生協への期待」(仮題)  
講師：NHK 報道局チーフプロデューサー 井上恭介氏
  - (3) 地域活性化研究会ミニシンポジウム

# 広島県労働者福祉協議会研修（東日本）報告

7月17日～19日 宮城県石巻、気仙沼、南三陸の復興状況を視察する機会があった。

今から3年4か月前、小雪が舞う厳しい寒さの中で被災された皆さんに、まずは食料を中心に初動対応をしようと、野営も辞さない覚悟で向かった時のことを思い出す。

情報が錯綜する中、10名の役員で緊急物資と燃料をトラッ

阪神淡路大震災の390倍の規模であった。あの瓦礫の山とぐちゃぐちゃになった地上の光景は、今に残っているものは少ない。が、津波に襲われ壊れた校舎や建物は象徴的に元の場所にあった。

そうした光景を再び目にして、コップみよぎの親しい職員に出会えたときには、只、無言でお互いに抱き合うしかなかった。

石巻漁港の周辺では、水産物の加工会社も多い。ある缶詰工場では、大量の缶詰が津波被害

人間にとつてとつてもない災害は、広島の原因もそうだが、「あの惨劇を思いだしたくないので建物や学校などを撤去してほしい」という意見と、「後世に語り継ぐ必要があるから残してほしい」という意見に二分される。

仮設住宅は、期間的にはすでに退去する時期に入っているが、公営住宅などの建設が遅れ

## 普通の生活へ 東日本大震災への復興

広島県生協連専務理事 高田公喜



鉄骨だけが残された建物跡



いまでは渡る人のない生活のための橋



がれきは取り除かれたが、復興の進まない土地

クにのせて、震災直後の仙台市に向けて出発した。福島県では、福島第一原発の放射能が大量に漏れているという情報もあつて、被爆の恐怖と寒さに震えながら現地に向いた。しかし、2日をかけて1200kmを移動した彼方には、想像を遙かに超えた惨劇が待っていた。

沿岸地域では、いまでも地盤沈下がひどく、石巻では70cmも下がっている。この土地を嵩上げし、再び建物を建てるにはあと2年くらいかかるという。結果として、石巻では、人口が1万人も減少しているという。元の土地に戻りたいという被災者は約4割にとどまっている。いまだ恐怖が人々の心の内にあるようだ。

にあり、多くのボランティアが缶詰の回収作業に参加して、「希望の缶詰」として販売されたという。そうした出来事が語り伝えられたことにもよるのか、石巻には、いままで28万人のボランティアが参加しているという。



鉄路は錆びて生い茂る夏草

震災直後、物資を被災地に届けて広島に帰ってきたとき、「あ、なんて日常の暮らしはいいものなんだろう。」と実感したものだ。そのことを改めて思い出し、東北の人々が、普段の生活を一日も早くとりもどし、それ以上の幸福感を味わえる時が来るように、私たちは支援を続けたいものだ。

ているためか、商店街も仮設の商店街で頑張っているのが現状である。

気仙沼、南三陸も同じ状況である。気仙沼では、観光コンベンションガイドの尾形さんにお世話になった。彼は、東北電力に長年勤めた後退職され、「被災者の皆さんが泣きながら言われたことを多くの人に伝えたい」と語っていた。また、尾形さんは、「今日を一生懸命に生きる。命を大切に、人を想う」このことが大事であると力説されていた。

## 第1回組織委員会報告

### 開催日

2014年6月18日（水）

### 会場

広島県生協連3階会議室

出席（敬称略） 佃（広島県学校生協）、檀浦（広島県高校生協）、上田、戸田、森島（生協ひろしま）、藤原（広島中央保健生協）、越智（日立造船因島生協）、山本（広島県労済生協）、宮澤（福山医療生協）、高田、福島、為政（広島県生協連）

### 【主な内容】

1 2014年度広島県生協連通常総会の議案説明ならびに当日運営について

議案書に基づき2014年度活動方針を確認した。また、総会当日の運営について確認した。

2 2014年度平和の取り組みについて

以下の項目について協議し、確認した。また直近の平和情勢について情報共有をおこなった。

- (1) ピースアクションヒロシマについて
- (2) 子どもガイド、ヒロシマガイド養成講座並びに虹のひろば合唱団の中間報告
- (3) 2014市民平和行進について

3 2014年度広島県生協連の組織委員会活動方針について確認した。

福祉・介護委員会報告・地域活性化研究会報告・理事会報告

第1回福祉・介護委員会報告

開催日：2014年7月9日（水）

会場：広島県生協連3階会議室

出席（敬称略）：盛谷、大野（広島中央保健生協）、斉藤、本浦、山本（広島医療生協）、岡崎、西谷（生協ひろしま）、高田、福島、為政（広島県生協連）

【主な内容】

1. 介護保険制度改訂・新しい地域支援事業に関して協議を行い、以下を決定した。
  - (1) 学習会の開催（介護保険制度改訂の内容理解する学習会を9月8日に開催する）
  - (2) 市町ヒアリング（市区町村別生協の地域資源と背景一覧表を作成する）
  - (3) 市町訪問（地域別に主幹生協を決め、8月に各市町と訪問日を設定する。訪問は9～10月）
2. 課題の進捗について確認した。
  - (1) 生協版地域包括センター構想について（ワーキングチームを発足、地域包括ケアシステムを学びながら、生協としてどのような地域ケアをめざすのかイメージと方向性を考案し提案する。）
  - (2) 福祉介護人材育成（教育研修）について（ミドルマネージャー研修を10月16日に開催する）
  - (3) 福祉事業実績管理表（新フォーマットを使って、5月実績をもとに交流を行った。）
3. 視察（トップケーススタディ）について  
医療生協と購買生協が連携して取り組みを進める青森県を視察する。10月2～3日に実施予定。

第7回地域活性化研究会報告

開催日：2014年7月22日（火）

会場：広島県生協連3階会議室

出席（敬称略）：国本広島市佐伯区長、佐田尾中国新聞社論説副主幹、佐々木修大教授、丸山リエゾン地域福祉研究所代表、尾崎日本生協連震災支援ボランティア活動担当、岡崎生協ひろしま福祉事業部長、徳永生協ひろしま無店舗事業部長、高成田日本労働者協同組合連合会センター事業団本部長、高田広島県生協連専務理事、上田広島県生協連理事、福島広島県生協連事務局長

【主な内容】

1. 実践報告「コープおきなわの取組に学ぶ」  
（講師：コープおきなわ理事長スタッフ 石原修氏）  
コープおきなわが離島を中心に取り組んでいる、「地域を元気にする取り組み」について、石原修氏に実践報告をいただきました。  
コープおきなわでは、基本理念である「ともに創る くらしと未来」のもと、地域や他団体と連携して、地域の資源（もずくや黒糖）を生かした商品開発によるモデル事業を展開し、産業の健全化を行うだけでなく、小中学生の教育（東大生によるサマースクールの開催や沖縄芸大との作品作成）にも力を入れ、地域おこしに取り組んでいます。  
地域や行政と一緒に取り組むことで近い関係になり、様々な協議会への参加要請、地域イベントの協力依頼など生協の存在価値が向上し、地域の活性化にも繋がっていると報告があり、その後、意見交流を行いました。研究会として、大いに参考になる実践事例報告となりました。



コープおきなわ 石原修氏

地域活性化研究会の様子

- 広島県生活協同組合連合会  
2014年度 第1回 理事会報告
- 日時 2014年7月11日  
（金）13時40分～15時06分
- 場所 広島県生協連  
3階会議室
- 出席 20名中16名出席  
（理事17名中14名出席、  
監事3名中2名出席）
- （出席理事）岡村、高田、馬場、盛谷、岡野、横山、斉藤、上田、近江、川本、乃美、吉山、武田、金築
- （出席監事）花田、堀
- 議決事項  
以下の項目について資料に基づき提案説明を行い、全員異議なく承認決定した。
- （第1号議案）集団的自衛権行使を可能とする憲法解釈の変更に反対する意見書について
- （第2号議案）マスコミ（支局長クラス）との懇談会の実施について
- （第3号議案）2015年（平成27年）広島県への要請事項のポイントについて
- （第4号議案）常務理事会専決事項
- 1 他団体の公職承認の件
- ①広島県農業関係施策検討会議委員の委嘱について
- ②一般社団法人広島県森林整備・農業振興財団理事の委嘱について
- ③広島県総合計画審議会委員の委嘱について
- 2 コープアドバイザーの選任について
- （第5号議案）第43回広島県生協大会の実施要綱（案）について
- （第6号議案）2015年NPT再検討会議への派遣とこの間の情勢について
- 協議・報告事項  
各事項について資料に基づき提案説明を行い、協議の結果、全事項について確認した。
- （第7号議案）平和活動関連（2014ピースアクション）ヒロシマ、2014市民平和行進の最終案内と要員協力のお願い
- （第8号議案）一般活動報告  
1 2014年度通常総会議事録及び報告書  
2 2014第1回トップセミナー報告  
3 戦争も核兵器もない平和な世界を市民の集い報告  
4 審議会報告（広島県農業関係施策審査検討会議）  
5 委員会活動報告（組織委員会、地域活性化研究会、福祉・介護委員会）  
6 第30回中四国生協・行政合同会議について  
7 TPP交渉における国会決議の実現を求める広島県民集会報告について

## 日々のことから

広島平和記念資料館館長

### 志賀 賢治

しが けんじ

広島市出身。1952年生まれ。1978年名古屋大学法学部卒業。広島市役所入所。情報政策担当部長、広島市立大学事務局長、健康福祉局長などを歴任し、2013年退職。2013年4月より現職。

## 死者との対話



7月中旬、在京の出版社から大判の写真集が届きました。真っ白いカバーには、藍色の地に花模様ブラウスの写真があらわられています。

書名は、『From ひろしま 石内都』(2014 求龍堂)。

当資料館が収蔵する遺品の数々を、2007年から撮影し続ける写真家、石内都氏の最新作品集です。7年の間に撮られた遺品は、百数十点。写真集には、そのうち87点の遺品の写真が収められていました。

数年前、石内さんの作品に初めて触れたとき、遺品の一つひとつを、とても美しく感じました。美し過ぎる、そう言ってもいいかも知れません。

石内氏の撮った紫のワンピースは、到底69年前になくなった方の遺品とは思えないほど鮮やかです。でも、裁縫上手の節子さんが、羽織を仕立て直し、染めなおして、あの日、職場に着て行き、12日後に亡くなるまで着用していたものです。23歳、スタイル自慢の節子さんにとっても似合っていたそうです。

当館がお預かりしている2万点余の収蔵品の殆どは、決して美しいと言えるものではありません。数千度の熱線と凄まじい爆風、そして、とてつもない放射線に曝された醜く、あの日の凄惨な記憶を留める、そんな資

料や遺品たちばかりです。そうした被爆資料や遺品、被爆者たちの記憶を身近にしてきた私たちにとって、被爆にまつわるものは、ある意味『美しくあつてはいけない』ものだったのかも知れません。石内さんの作品は、そんな固定観念を頑に持ち続けていた私たちを、静かにたしなめているようです。

爆の実相」を語り継ぐ新たな試みとも云って良いのではないのでしょうか。

遺品たちは、展示を待つて、恒温恒湿に保たれた地下の収蔵庫に静かに眠っています。



7月30日、石内さんは15日に寄贈されたばかりのブラウスを撮影して行かれました。

作品が伝えようとしていることは、あの惨劇に直截的に目を向けることよりも、むしろ、その惨劇によって失われた一人ひとりの日常に思いを馳せること、遺品の持ち主たちの『美しかった』『生』を共有することに最大限の力を注ぐことの大切さ。私たちに連なるいのち、『生』との、時、場所を超えての連帯と云っても良いかもしれませ

【編集室から】  
「近頃の若いものは…」有史以来つぶやかれてきた人類の大人の嘆きだ。事実、「8月6日は、8月15日は何の日？」と問われてまったくトンチンカンな答えを発する大勢の若者を報道によって目にしたことが何度かある。  
そうした若者や子どもに対する認識を改めさせられた、というより、眼から鱗が…という大きな衝撃を今号の特集取材で受けた。  
夏の暑いさなか、説明する文章を考えそれを頭に覚えさせ、何度も何度も語りの練習を重ねる。自分で「平和について知ってもらおう」と進んで参加したとはいえず、忍耐と我慢することを強いられる「こども碑めぐりガイド」。

また、自己を表現することが好き、とはいえず、激しい身体の動きや繊細な心を表現する。指導者の厳しい叱咤の言葉にあふれる涙を物ともせず、繰り返すIPRAYの舞台稽古。

「平和について自分たちが次の世代に伝えなければ…」という熱い思い。この子たちが、確実に平和と命の尊さを未来に伝えてくれそうだ。(Y)

平和とよりよき生活をめざして

### 広島県生活協同組合連合会

〒730-0802 広島市中区本川町 2-6-11  
第7ウエノヤビル 5F  
TEL 082-532-1300 FAX 082-232-8100  
E-mail : kenren.h@proof.ocn.ne.jp  
URL : http://hiroshima.kenren-coop.jp